２０１６年度

（平成２８年１２月５日）

第１１１回

通 常 総 会 資 料

JCI
Junior Chamber International Japan
SOKA

公益社団法人 草加青年会議所 2016年度スローガン

一念通巌

～魅力あふれる草加の実現～

公益社団法人　草加青年会議所

２０１６年　十二月第１例会（第１１１回通常総会）

日　時：２０１６年１２月５日（月）
１９：００~２２：００
場　所：埼玉屋旅館
理事長：吉田　浩士
担　当：総務グループ

＜　次　第　＞

１．開会点鐘
２．国歌並びにＪＣソング斉唱
３．ＪＣＩ　Ｃｒｅｅｄ唱和
４．ＪＣＩ　Ｍｉｓｓｉｏｎ並びにＪＣＩ　Ｖｉｓｉｏｎ唱和
５．ＪＣ宣言朗読並びに綱領唱和
６．関東地区宣言
７．理事長挨拶
８．例会主題
　第一部　**『第１１１回通常総会』**
　　第１号議案　２０１６年度第１次補正予算　承認に関する件
　　第２号議案　２０１７年度事業方針並びに事業計画　承認に関する件
　　第３号議案　２０１７年度収支予算　承認に関する件
　　第４号議案　２０１７年度公益目的事業計画書　承認に関する件
　　第５号議案　２０１７年度資金調達及び設備投資の見込みに　関する件
　第二部　**『卒業生ＪＣについて語る』**
９．会員消息
１０．出席率報告
１１．監事講評
１２．次回例会予告
１３．若い我等斉唱
１４．閉会点鐘

JCI Junior Chamber International Japan SOKA

公益社団法人 草加青年会議所 2016年度スローガン

一念通巌

～魅力あふれる草加の実現～

君が代

君が代は　千代に八千代に
さざれ石の　巌となりて　苔のむすまで

JC ソング

JC JC JC
世界を結ぶ 若き団結
新しき世紀の 希望となりて
永遠に繁栄えん
我等の集い
JC JC JC
奉仕の理想 探求めつつ
祖国の進歩の 力となりて
先駆けゆかん 我等の集い

JCI ミッション

JCI Mission:
"To provide development opportunities that empower
young people to create positive change."
JCI ミッション:
より良い変化をもたらす力を青年に与えるために発展・成長の機会を提供すること。

JC 宣言

日本の青年会議所は
混沌という未知の可能性を切り拓き
個人の自立性と社会の公共性が
生き生きと協和する確かな時代を築くために
率先して行動することを宣言する。

綱領

われわれ JAYCEE は
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者 相集い 力を合わせ
青年としての英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう。

関東地区宣言

われわれは国づくりの先駆者として
責任と誇りをもち愛する地域のため個を確立し
同じ価値観のもと共創しあい
関東地区は日本の礎となる事を誓う

JC I クリード

The Creed of Junior Chamber International
We Believe;
That faith in God gives meaning and purpose to human life;
That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;
That economic justice can best be won by free men through free enterprise;
That government should be of laws rather than of men;
That earth's great treasure lies in human personality;
And That service to humanity is the best work of life
【和訳】
我々はかく信じる;
信仰は人生に意義と目的を与え人類の同胞愛は国家の主権を超越し正しい経済の発展は自由経済社会を通じて最もよく達成され政治は人によって左右されず法によって運営さるべきものであり人間の個性はこの世の至宝であり人類への奉仕が人生最善の仕事である

JCI ビジョン

JCI Vision:
"To be the leading global network of young active citizens."
JCI ビジョン:
若き能動的市民の主導的なグローバル・ネットワークになること。

若い我等

若い我等が 手を取り合って
進む行く手の 青い空に
輝く JC 明るい希望
足なみをそろえて 行こうじゃないか
世界を結ぶ 若さの力
互に尽くす 楽しさこそ
JC の理想だ 新しい日だ
足なみをそろえて 行こうじゃないか
若い我等の 心を集め
つくる集いに 未来をかけて
JC の仲間は 皆信じあう

第１１１回通常総会次第……

１．第１１０回通常総会議事録……

２．第１号議案……

２０１６年度第１次補正予算　承認に関する件

３．第２号議案……

２０１７年度事業方針並びに事業計画　承認に関する件

４．第３号議案……

２０１７年度収支予算　承認に関する件

５．第４号議案……

２０１７年度公益目的事業計画書　承認に関する件

６．第５号議案……

２０１７年度資金調達及び設備投資　見込みに関する件

公益社団法人　草加青年会議所　第１１０回通常総会　議事録

１　開催日時　　平成２８年９月１９日（月）　　１９:００～２０:０８

２　開催場所　　草加市文化会館・レセプションルーム

３　正会員５６名・内休会１名　　出席者数４７名（内委任状有効者数１７名）定足数確認時

４　議決事項

第１号議案　２０１６年度 中間決算 承認に関する件

第２号議案 次年度役員 承認に関する件

５　議長選任の経過

定刻となり、司会者青柳敏史君は開会を宣言した。議長選任について諮ったところ司会者一任の声があり、司会者はこのことについて諮ると全員異議なく賛同を得た。司会者はこれに基づき理事長吉田浩士君を指名し、同君が議長に選任された。総務グループ事務局長大谷翼君より５６名中３０名の出席があり、加えて１７名の委任状提出されている旨が報告され、定款２１条に定める定足数の要件が満たされていることの確認がなされた。議長は本総会が有効に成立した旨を告げ、直ちに議事の進行に努めた。前回議事録の承認について諮ると全員異議なく賛同を得た。続いて議事録作成人を総務グループに、署名人は７項に明記した両君を指名した。新議題の採択がなく、本総会の議案は一月度理事会審議事項第１号通りに議事の上程を諮る旨を宣言し全員がこれを了解した。

６　議事の経過の概要及びその結果

(1) 第１号議案　２０１６年度中間決算　承認に関する件

議長の指名により、２０１６年財政局長寺門卓将君より２０１６年度中間決算について報告がなされる。その後、本件を諮ったところ全員異議なく賛同を得たので、議長は本件が承認された旨を告げた。

(2) 第２号議案　次年度役員　承認に関する件

議長の指名により２０１７年理事長加州洋介君より２０１７年度役員選任の件について報告がなされる。その後、本件を諮ったところ全員異議なく賛同を得たので、議長は本件が承認された旨を告げた。

７　議事録署名人の選任について

議長は、本総会の議事録署名人として細谷庄平君及び高橋誠君を指名したところ全員異議なく賛同を得たので、議長は両君が選任された旨を告げた。本総会の議決を証明するため、議長及び議事録署名人は記名捺印する。

平成　２８年　　１０月　１３日

議長　　吉田　浩士　　署名人　　細谷　庄平　　署名人　　高橋　誠

監事　　吉村　　篤　　監事　　石原　裕司　　監事　　山崎　直人

専務理事　　高原　伸広

第 １ 号 議 案 資 料

２０１６年度第１次補正予算　承認に関する件

一般会計第1次補正収支予算書(案)

公益社団法人 草加青年会議所 2016年度

自 2016年 1月 1日
至 2016年 12月31日

(単位:円)

科　　目	2016年度補正予算	2016年度修正予算	増減	摘要
Ⅰ. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 入会金収入				
入会金収入	300,000	300,000	0	20.000×15名
② 会費収入				
正会員会費	5,760,000	5,880,000	▲ 120,000	120,000×48名
新入会員会費	630,000	900,000	▲ 270,000	120,000×1名 80,000×1名 70,000×2名 60,000×1名 50,000×2名 30,000×2名 20,000×1名 10,000×5名
特別会員会費	1,476,000	1,476,000	0	18,000×82名
賛助会員会費	36,000	36,000	0	18000×2社
③ 事業会計収入				
登録料収入	480,000	480,000	0	賀詞交歓会登録料
広告料収入	36,000	36,000	0	
④ 預かり金収入				
預かり金収入	416,000	0	416,000	
⑤ 寄付金収入				
寄付金収入	360,000	360,000	0	
⑥ 雑収益				
受取利息収入	1,000	1,000	0	
その他雑収入	10,000	10,000	0	JCカード、各種共済会割戻金
⑦ 他会計からの繰入金収入				
事業安定化会計繰入収入	520,000	520,000	0	
公益事業緊急対策会計繰入収入	0	0		
周年事業積立会計繰入収入	0	0	0	
事業活動収入計 (A)	10,025,000	9,999,000	26,000	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出				
拡大室				
会員拡大委員会				
担当例会事業費	300,000	300,000	0	
オープン委員会事業費	30,000	70,000	▲ 40,000	
委員会運営費	140,000	30,000	110,000	
新入会員記念品費	124,000	130,000	▲ 6,000	
わんぱく相撲運営費	100,000	100,000	0	
会員拡大委員会支出計	694,000	630,000	64,000	旧人財力開発委員会
会員室支出計	(694,000)	(630,000)	(64,000)	
育成室				
青少年健全育成委員会				
担当例会事業費	300,000	100,000	200,000	
企画事業費	580,000	780,000	▲ 200,000	春フェス・ユース等
ｵｰﾌﾟﾝ委員会事業費	10,000	30,000	▲ 20,000	
委員会運営費	50,000	30,000	20,000	
青少年健全育成委員会支出計	940,000	940,000	0	旧未来リーダー育成委員会
育成室支出計	(940,000)	(940,000)	(0)	
開発室				
地域開発委員会				
担当例会事業費	100,000	100,000	0	

企画事業費	1,180,000	1,180,000	0	
ｵｰﾌﾟﾝ委員会事業費	30,000	30,000	0	
委員会運営費	30,000	30,000	0	
地域開発委員会支出計	1,340,000	1,340,000	0	旧地域の豊かさ向上委員会
開発室支出計	(1,340,000)	(1,340,000)	(0)	
事務局･財政局				
総務グループ				
担当例会事業費	100,000	100,000	0	
ｵｰﾌﾟﾝ委員会事業費	0	30,000	▲ 30,000	
委員会運営費	20,000	30,000	▲ 10,000	
総務関係費	400,000	400,000	0	
報告書作成費	140,000	100,000	40,000	開発等
公益社団法人登録費	30,000	30,000	0	
記録費	10,000	10,000	0	
広報費	200,000	200,000	0	HP管理料
総務グループ支出計	900,000	900,000	0	旧事務局財政局
事務局･財政局支出計	(900,000)	(900,000)	(0)	
選挙管理委員会				
選挙管理委員会				
オープン委員会事業費	0	10,000	▲ 10,000	
公聴会関係費	10,000	10,000	0	
委員会運営費	20,000	10,000	10,000	
選挙管理委員会支出計	(30,000)	(30,000)	(0)	
特別事業支出				
50周年特別会議費	200,000	200,000	0	
特別事業費	288,525	288,525	0	サッカー大会等
渉外事業費	87,650	177,650	▲ 90,000	周年事業登録料
特別事業支出計	(576,175)	(666,175)	(▲ 90,000)	
事業会計支出				
登録料支出	480,000	480,000	0	賀詞交歓会登録料
委員会事業支出	0	0	0	
周年事業支出	0	0	0	
事業会計支出計	(480,000)	(480,000)	(0)	
事業費支出計	【 4,960,175 】	【 4,986,175 】	【 ▲ 26,000 】	( )の合計
② 管理費支出				
理事会費支出	30,000	30,000	0	会場使用料
特別会議費支出	0	30,000	▲ 30,000	役員会議他
通信費支出	300,000	300,000	0	葉書電話郵送料
什器備品費支出	300,000	380,000	▲ 80,000	コピー使用料他
消耗費支出	180,000	200,000	▲ 20,000	JC手帳･事務用品
給与手当支出	1,080,000	1,080,000	0	人件費
賃借料支出	710,000	710,000	0	事務局賃借料
交際費支出	50,000	50,000	0	広告名刺代
修繕費支出	10,000	20,000	▲ 10,000	
保険料支出	10,000	20,000	▲ 10,000	労働保険料
雑費支出	20,000	30,000	▲ 10,000	支払手数料
渉外費支出	173,325	210,000	▲ 36,675	出向会議費･登録料
慶弔費支出	100,000	100,000	0	冠婚葬祭費
旅費交通費支出	5,000	5,000	0	大会用旅費
諸会費支出	30,000	90,000	▲ 60,000	公的機関年会費
管理費支出計	【 2,998,325 】	【 3,255,000 】	【 ▲ 256,675 】	
③ 負担金支出				
ＪＣＩ負担金	89,375	89,700	▲ 325	1,375円×65名
日本JC負担金	355,000	370,000	▲ 15,000	5,000円×65名＋30,000円
関東地区協負担金	38,500	52,500	▲ 14,000	500×57名+10,000円
埼玉ブロック負担金	362,000	410,000	▲ 48,000	6,000円×57名+20,000円
国際協力基金	118,625	118,625	0	1,825円×65名
日本JC出向者負担金	120,000	120,000	0	20,000円×6名
We Believe 購読料	165,000	195,000	▲ 30,000	3,000円×55名

負担金支出計	【 1,248,500 】	【 1,355,825 】	【 ▲ 107,325 】		
④ 預かり金支出	【 416,000 】	【 0 】	【 ▲ 416,000 】	日本JC登録料他	
⑤ 他会計への繰入金支出					
公益事業緊急対策会計繰入支出	0	0			
周年事業積立会計繰入支出	300,000	300,000	0		
退職積立預金繰入支出	102,000	102,000	0		115,325
事業安定化会計繰入支出	0	0	0		
他会計への繰入金支出計	【 402,000 】	【 402,000 】	【 0 】		
事業活動支出計 (B)	10,025,000	9,999,000	26,000	【 】の合計	
事業活動収支差額 (A-B)	〔 0 〕	〔 0 〕	〔 0 〕		
Ⅱ. 投資活動収支の部					
1 . 投資活動収入					
投資活動収入計	0	0	0		
2 . 投資活動支出					
投資活動支出計	0	0	0		
投資活動収支差額	〔 0 〕	〔 0 〕	〔 0 〕		
Ⅲ. 財務活動収支の部					
1 . 財務活動収入					
財務活動収入計	0	0	0		
2 . 財務活動支出					
財務活動支出計	0	0	0		
財務活動収支差額	〔 0 〕	〔 0 〕	〔 0 〕		
Ⅳ. 予備費支出	0	0	0		
当期収支差額	0	0	0	〔 〕の合計-予備費	

事業安定化会計第1次補正収支計算書(案)

公益社団法人　草加青年会議所　2016年度

自　2016年　1月　1日

至　2016年　6月30日

（単位:円）

科　　目	2016年度補正予算	2016年度修正予算	増減	摘要
Ⅰ．事業活動収支の部				
１．事業活動収入				
⑥ 雑収益				
受取利息	1,000	1,000	0	
⑦ 他会計からの繰入金				
一般会計繰入収入	0	0	0	
事業活動収入計　(A)	1,000	1,000	0	
２．事業活動支出				
⑤ 他会計への繰入金支出				
一般会計繰入支出	520,000	520,000	0	
事業活動支出計　(B)	520,000	520,000	0	
事業活動収支差額　(A-B)	▲ 519,000	▲ 519,000	0	
Ⅱ．投資活動収支の部				
１．投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
２．投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
Ⅲ．財務活動収支の部				
１．財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
２．財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	▲ 519,000	▲ 519,000	0	

公益事業緊急対策会計第1次補正収支計算書(案)

公益社団法人　草加青年会議所　2016年度

自　2016年　1月　1日
至　2016年　6月30日

(単位:円)

科　　目	2016年度補正予算	2016年度修正予算	増減	摘要
Ⅰ．事業活動収支の部				
1．事業活動収入				
⑥雑収益				
受取利息	1,000	1,000	0	
⑦他会計からの繰入金				
一般会計繰入収入	0	0	0	
事業活動収入計　(A)	1,000	1,000	0	
2．事業活動支出				
⑤他会計への繰入金支出				
一般会計繰入支出	1,000	1,000	0	
事業活動支出計　(B)	1,000	1,000	0	
事業活動収支差額　(A-B)	0	0	0	
Ⅱ．投資活動収支の部				
1．投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2．投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
Ⅲ．財務活動収支の部				
1．財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2．財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	0	0	0	

周年事業積立会計第1次補正収支計算書(案)

公益社団法人　草加青年会議所　2016年度

自　2016年　1月　1日
至　2016年　6月30日

(単位:円)

科　　目	2016年度補正予算	2016年度修正予算	増減	摘要
Ⅰ．事業活動収支の部				
１．事業活動収入				
⑥雑収益				
受取利息	500	500	0	
⑦他会計からの繰入金				
一般会計繰入収入	300,000	300,000	0	
事業活動収入計　(A)	300,500	300,500	0	
２．事業活動支出				
⑤他会計への繰入金支出				
一般会計繰入支出	0	0	0	
事業活動支出計　(B)	0	0	0	
事業活動収支差額　(A-B)	300,500	300,500	0	
Ⅱ．投資活動収支の部				
１．投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
２．投資活動支出			0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
Ⅲ．財務活動収支の部				
１．財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
２．財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	300,500	300,500	0	

退職金積立会計第1次補正収支計算書(案)

公益社団法人　草加青年会議所　2016年度

自　2016年　1月　1日
至　2016年　6月30日

(単位:円)

科　　目	2016年度補正予算	2016年度修正予算	増減	摘要
Ⅰ．事業活動収支の部				
1．事業活動収入				
⑥雑収益				
受取利息	3,000	3,000	0	
⑦他会計からの繰入金				
一般会計繰入収入	102,000	102,000	0	
事業活動収入計　(A)	105,000	105,000	0	
2．事業活動支出				
⑤他会計への繰入金支出				
一般会計繰入支出	0	0	0	
事業活動支出計　(B)	0	0	0	
事業活動収支差額　(A-B)	105,000	105,000	0	
Ⅱ．投資活動収支の部				
1．投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2．投資活動支出			0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
Ⅲ．財務活動収支の部				
1．財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2．財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	105,000	105,000	0	

第 ２ 号 議 案 資 料

２０１７年度事業方針並びに事業計画　承認に関する件

◆２０１７年度理事長予定者所信（案）

公益社団法人草加青年会議所２０１７年度
第４９代理事長予定者　加州 洋介

「誇り」

創始の時代背景とは大きく異なり、今や多くのＮＰＯ・ＮＧＯが設立され、ＪＣしかない時代からＪＣもある時代へと移り変わり、その中で我々の運動も真価を問われ、再認識する時期に来ているのではないでしょうか。我々が住むこの地域にも、少子高齢化や核家族化の進行、地域の連帯意識の希薄化など、様々な分野での課題が押し寄せてきています。今こそもう一度我々に求められている事、我々にしか出来ない事をより追求し発信していくことで、更なる飛躍へ繋がると考えます。

設立当時から脈々と繋がる誇り高き歴史と伝統、熱き想いを引き継ぎ次代へ継承する事、そして時代の移り変わりが早い中、急速な変化や状況を把握し、地域のリーダーとして率先して行動し物事を捉え、住み暮らす人々が何を必要としているのかを把握し、行動を起こさなくてはなりません。時々の時代背景を踏まえ、その背景に沿った目的や目標を持ち、我々ならではの事業や運動を展開し、行政や地域住民と共に手を取り合い、明るい豊かな社会を築き上げて参ります。そして我々はこの時代を担う世代であり、市民運動の先頭に立ち進む団体として、愛するこの地域を、そして地域住民や子ども達の未来のために、地域に市民に必要とされる青年会議所運動を展開していきます。確かな意志を持ち率先して行動する精神こそ、時代を先駆けるべき青年の責務であり、我々に求められている事なのです。

青年会議所運動とは個を確立する自己啓発や修練の場であり、そこで培われた経験を基に、地域社会に奉仕する事です。またその経験から仕事や日常生活では得られない大切な仲間や友情を得ることができ、その仲間と共に様々な経験を積むことで青年経済人として成長すると共に、我々だからこそ出来る経験を通じ苦楽の時間を共有することによって得られる仲間の存在は、青年会議所の魅力であり、人生の宝となります。青年会議所の中で自分自身を磨き高め、外部に発信していくことでメンバーや地域の意識改革へ繋がり、自分づくりから始まる、人づくりやまちづくりとなるのです。

我々が青年会議所運動を通じて資質向上を図り、地域の先導者として青年会議所メンバーとしての意識を常に持ち、自信と誇りを胸に行動していきます。青年会議所としての誇りとは、お互いのことを思いやり、同じ目標に向かって努力と協力を惜しまず、共に行動していることを感じ合い、より魅力的な会へ発展させていきたいと願い、率先して行動に移した時、自ずとして生まれてくるものです。その誇りを胸に行動すれば、自ずと志同じ

うする者が相集いそして力を合わせ、地域の更なる発展の支えとなることと確信しております。世の中の流れに翻弄されることなく、今必要とされているものをしっかりと捉え行動に移していくこと。受け継がれてきた誇りを守り更に発展させ、青年会議所を通して己を律し、人間力を高め揺るぎない信念、すなわち誇りを持って行動すること、それこそが我々にしか、そしてＪＣにしか出来ない事なのです。

◆２０１７年度　基本方針（案）

・「確かな想いを持ち行動します」
　想いだけでは何も出来ない、しかし想いがなければ何も始まりません。
　明確な目的、目標を持って行動すれば、その想いは伝わり人を動かします。

・「見栄は張らず、意地を張ります」
　周囲に自分を良く見せようとしても、それは外面的でありいつかは崩れてしまう。
　自ら内面的に努力し行動に移した時、初めて人は評価し自らも成長します。

・「時には立ち止まり、周りを見渡します」
　今自分のおかれている状況を理解把握し、何を優先して行動すべきか、進む事も大切だが時には立ち止まり考え、初心を振り返る事も大切です。

・「常に感謝の気持ちを持ち、行動します」
　家族や友人、仕事関係の全ての事に通ずる人々の理解や協力があるからこそ、我々は行動できています。その事を忘れずに仲間と共に思いやりを持ち助け合います。

・「失敗を恐れず、自分を信じ果敢に挑戦していきます」
　挫折や失敗をしても、何度でもやり直す事が出来ます。進むべき道を信じ一歩踏み出す情熱と信念を持って諦めず行動していきます。

◆２０１７年度　事業方針（案）

＜誇りある会員拡大＞

「青年会議所運動に誇りを持ち行動し、魅力を伝え継承します」

景気低迷や少子化問題などの厳しい時代背景の中、全国的に会員の減少が問題になっており、草加青年会議所も例外ではありません。過去１００名を超える会員が所属していた我々も会員減少傾向にあり、迅速な対応が必要です。

このことは、事業や運営面に影響を与え、これに伴う事業縮小は我々の目的達成を困難にし、地域に市民に必要とされる青年会議所運動が出来なくなるといった事態に陥ってしまう可能性もあります。また、青年会議所運動を通じて地域に貢献できる人材の減少は、運動の発進力が低迷し魅力ある団体であり続ける事を困難にします。だからこそ会員拡大は重要な青年会議所運動であり、人づくりやまちづくりには欠かせない運動の原点なのではないかと考えます。

多くの時間を割き、多くの事の中から優先順位を上げ青年会議所運動を行う事は、決して簡単な事ではありません。青年会議所運動の魅力を最大限に伝え、志同じうする仲間を増やすことで脈々と続く青年会議所運動をさらに発展させ、新しい時代に立ち向かい継承していきます。本年度入会者数２０名必達という目標を掲げ、全メンバーで共有しよりよい青年会議所運動を展開していきます。

＜誇りを持つ人材育成＞

「青年会議所運動に誇りを持ち、行動できる人材になります」

現在、入会３年未満のメンバーが増え、以前と比べると青年会議所活動を行う環境が厳しくなっていると共に、メンバーの当事者意識も薄れてきているのではないでしょうか。我々メンバー１人ひとりが、地域に市民に必要とされる魅力ある青年会議所であり続けなければならないという使命感を持ち、青年会議所の一員であること、そして地域のリーダーであることを強く自覚し、力強くこれからのまちづくりを担っていく魅力的な人材である必要があります。

そのために、まずは基本となる青年会議所運動への積極的参加を更に呼びかけ、青年会議所の意義や目的を理解できる会員を育成すると共に、もう一度向き合うことで、その本質を改めて気付く機会を提供し、青年会議所運動の魅力を伝えられる人から、伝える人材へと成長していきます。研修を通して会員同士の連携が強固なものとなり、人を思いやる気持ちや敬う気持ちが育まれると共に、我々だからできること、我々に求められている運動へと繋げ、それを自身の原動力とし青年会議所運動に誇りを持って取り組める人材となり行動していきます。

＜誇りを持てる青少年育成＞

「自らを誇りに思え、自信を持って行動できる青少年を育成します」

現在、子ども達の取り巻く環境は我々が子どもの時とは大きく違います。外で遊ぶことを制限され、インターネットやゲーム等といったバーチャルな世界で物心のつく時期を過ごす子どもも少なくはないでしょう。子どもは家庭や地域に育まれ、その姿を見て成長していきます。時代の変化に関わらず、子どもの頃の経験は掛け替えのない財産となり、心に刻まれていきます。未来を担う子ども達が自らの未来を描ける環境は地域の活力となり、大人として伝えることのできる教育を通じ、希望に満ちた地域を未来へ継承していく必要があります。

子どもたちは多くの経験を重ねる事で成長し、自信につなげます。自分を信じ、自ら考え行動できる青少年は、夢や目標を実現するために自主的かつ積極的に行動を起こしていくでしょう。自分自身を大切に思い、育む環境を理解し大切にすることが自身の誇りへと繋がり、夢や目標を持つことが未来を担う青少年にとって重要であり、その経験は自らを取り巻く環境や地域を大切にし、郷土や日本を愛する心を育んでいきます。希望に満ちた子ども達の、そして地域の未来へ向け、そこに住む大人が手本となり地域全体で子ども達を育てていく必要性を伝え、地域に対する責務と青少年育成の重要性を自覚した我々が率先して市民の先頭に立ち行動する姿こそ、子ども達にとって最良の環境なのです。

また、国際化の発展から市内小学校でも、国際社会の中で日本人としての自覚を持ち主体性や生きていくための資質や能力の基礎を培う事を目的とした国際理解教育に取り組んでいます。我々青年会議所としても、その一助となるべくグローバルな感覚を持てる青少年を育成するために、新たに国際交流事業の模索・検討・機会の提供を行います。

＜誇りを持てるまちづくり＞

「住み暮らす人々が、地域の豊かさを誇りに想うまちづくりをしていきます」

我々が住むこの地域にも、少子高齢化や核家族化の進行、地域の連帯意識の希薄化など、様々な分野での課題が押し寄せてきています。我々はこの地域の現状を今一度再認識し、何が本当にこの地域に必要で、求められているのか、この地域がどうなっていくべきなのかを、地域を巻き込んだ運動を展開し、地域のリーダーとして、率先してこの課題に取り組んでいくことが必要です。

地域を巻き込むことにより、地域住民のまちづくりに対する意識向上へと繋がり、市民一人ひとりが「自分たちのまちは自分たちでつくる」といった当事者意識や活性化意識が高まり、地域力の相互理解から地域同士の連帯感や一体感が育まれます。そこから生まれる人や地域の繋がりや支え合いによって高まるコミュニティ力は、安心感をもたらすと共に、暮らしやすさや豊かさなどが実感できるまちへとなり、郷土愛や地域に対する誇りへ

と繋がっていきます。
我々だけではなく、地域住民がまちづくりに関わりやすい環境を整える為にも、まず我々が行政との意見交換の場を設け、互いの理解を深めることで、地域住民への発信力の向上とし、よりよいまちづくり事業へと展開していきます。

＜誇りある５０周年へ＞

「誇り高き歴史と伝統を胸に行動し、来年へと繋げます」

現在、草加青年会議所は設立４９年目であり、翌年には設立５０周年を迎えます。その節目の年を迎えるにあたり、我々はこの草加青年会議所の歴史を作り上げてきた諸先輩方が、どのような思いで活動・運動を行ってきたのかを改めて認識し、今後も我々が地域に市民に必要とされる組織であり続ける為に、よりよい青年会議所運動を展開していく事が必要であり、会員一人ひとりもまた、今まで以上に高い意識を持ち活動し、歴史を知った上での誇りを次代へと継承していくことが必要です。
我々は半世紀に亘り活動し続けられるのは、 多くの諸先輩方が熱い想いと覚悟を持ち、まちづくりのために取り組んでこられた運動の成果の積み重ねと、永年に亘り築かれてきた地域の方々との信頼関係が保たれているからです。この設立５０周年という輝かしい節目にあたり、メンバー全員がその歴史と功績に敬意と感謝の気持ちを伝えると共に、未来へ向け更なる飛躍をしていきます。
５０周年特別会議では、メンバーが一丸となって５０周年事業に取り組めるよう、情報の共有を徹底し、周年に対する意識の統一を図ります。そして諸先輩方や地域の皆様に感謝の意を表すと共に、今後の更なるご理解と連携に繋げることができる機会をつくり、時代に則した新たな事業を展開することで次代へと繋げるよう積極的に運動展開をしてまいります。
設立５０周年を通じて我々が失敗を恐れずに挑戦し続ける行動は、常に変化し続ける地域の中で、諸先輩方から学んだ変わらぬ理念を有する我々の存在価値、意義を地域に確立させ、新たな発見と進化した運動へと繋げ、地域に市民に必要とされ続ける団体になるものと信じ情熱を持って行動し、来年度へと繋がる事業構築を行います。

＜総務グループ＞

「全ての事業の支えとなり、誇りとなります」

我々の運動の根幹となる理事会や総会などの諸会議について、活動や事業をより良いものとするために、準備と設営を確実に行い、正確な議事録を作成することで、諸会議を有意義で充実した議論を交わせる場とします。
そして、私たちの運動や地域への想いを広く伝播するために、各委員会と密に連携を図

り、事業の運営補助と記録を的確に行いながら、ホームページ・SNS 等を活用し、正確な情報を公開します。さらに、世代を問わず魅力溢れる情報を広域に発信して、市民への認知度の向上を図るために、対外に発信して参ります。

また、メンバーの意識統一を充実するために各種会議においての議事内容や、毎月開催される各種例会や事業の活動内容及びその成果など、ＬＯＭの状況や方向性が分かる情報を対内外へ発信しメンバー全員が回覧することにより、情報の共有を図ります。

◆２０１７年度　委員会事業計画（案）

＜会員拡大委員会＞

正会員２０名の拡大
賛助会員、企業会員の拡大
例会・事業の企画運営
オープン委員会の企画運営
会員親睦事業の企画運営
卒業式の企画運営
わんぱく相撲の企画運営
５０周年特別会議への参加協力
日本ＪＣ、関東地区、埼玉ブロックとの連携
関係諸団体との連携
会員研修委員会との協力
各委員会との連携
第６６回全国大会への参加協力

＜会員研修委員会＞

例会・事業の企画運営
オープン委員会の企画運営
卒業式の企画運営
３分間スピーチの企画運営
５０周年特別会議への参加協力
日本ＪＣ、関東地区、埼玉ブロックとの連携
関係諸団体との連携
会員拡大委員会との協力
各委員会との連携
会員拡大２名の支援
第６６回全国大会への参加協力

＜青少年・国際交流委員会＞
例会・事業の企画運営
オープン委員会の企画運営
青少年健全育成事業の企画運営
国際交流事業の模索検討
春の子どもフェスタの企画運営
ユースサミット事業の企画運営
５０周年特別会議への参加協力
日本ＪＣ、関東地区、埼玉ブロックとの連携
関係諸団体との連携
各委員会との連携
会員拡大２名の支援
第６６回全国大会への参加協力

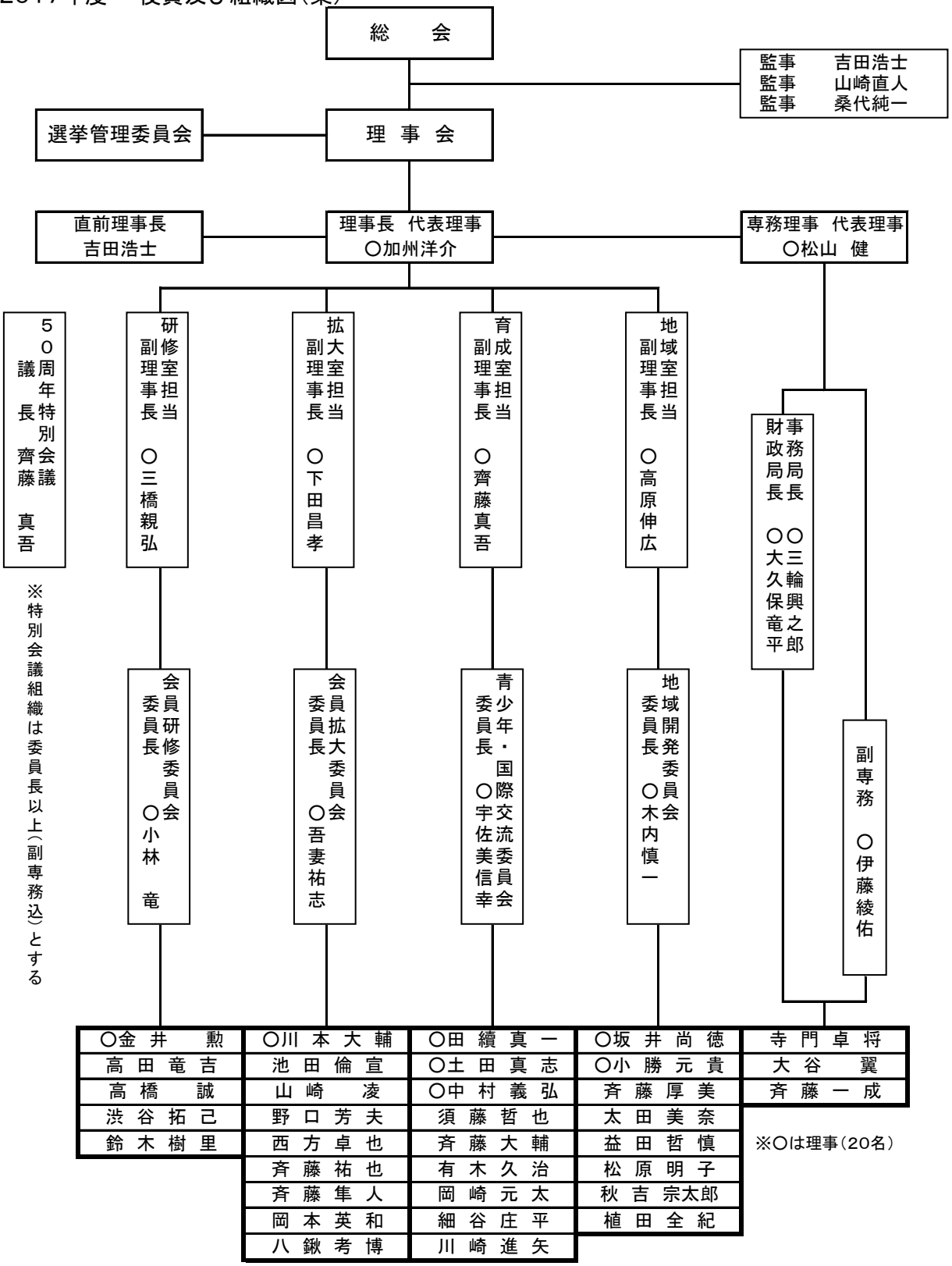
＜地域開発委員会＞
例会・事業の企画運営
オープン委員会の企画運営
草加松原夢祭りの企画運営
５０周年特別会議への参加協力
日本ＪＣ、関東地区、埼玉ブロックとの連携
関係諸団体との連携
各委員会との連携
会員拡大２名の支援
第６６回全国大会への参加協力

＜５０周年特別会議＞
オープン委員会の企画運営
毎月１回の委員会開催
５０周年事業に関わる企画・立案・調査
各委員会との連携

＜総務グループ＞
例会・事業の企画運営
関係官庁への書類提出・連絡調整窓口
各諸会議議事録・報告書等の文章作成
財務管理

ＨＰの管理・掲載
定款・諸規定の見直し
開発の発行
５０周年特別会議への参加協力
日本ＪＣ、関東地区、埼玉ブロックとの連携
関係諸団体との連携
各委員会との連携
会員拡大２名の支援
第６６回全国大会への参加協力

2017年度　役員及び組織図(案)



２０１７年度　出向者（案）

◆公益社団法人日本青年会議所

日本アカデミー委員会	広報幹事	吉田　浩士
	委員	坂井　尚徳
全国大会運営会議	委員	三橋　親弘
JC ブランディング会議	委員	高原　伸広

◆埼玉ブロック協議会

３０ＬOM支援委員会		
組織連携推進委員会		
アカデミー委員会	運営幹事	金井　勲
	委員	中村　義弘
	委員	細谷　庄平
	委員	渋谷　拓己
ブロック大会運営委員会		

◆公的機関　出向者

草加市都市計画審議会		小勝　元貴
草加市下水道事業運営審議会		小林　竜
草加市青少年健全育成市民会議	理事	松山　健
	青少年育成委員会	齊藤　真吾
	国際交流委員会	宇佐美　信幸
	家庭教育委員会	三輪　興之郎
草加市国際交流協会	理事	宇佐美　信幸
公益財団法人草加市文化協会	評議員	加州　洋介
草加市社会福祉事業団	評議員	加州　洋介
草加市社会福祉協議会		高原　伸広
草加市交通安全対策協議会		加州　洋介
草加市暴力排除推進協議会		加州　洋介
草加市特別報酬等審議会		坂井　尚徳
草加市観光協会		川本　大輔

草加市国民健康保険運営協議会	大久保　竜平
今様草加宿市民推進会議	加州　洋介
草加市次世代育成支援対策地域協議会	三橋　親弘
平成２９年度草加市立中学校社会体験事業推進会議	松山　健
草加市環境審議会	三橋　親弘
草加市環境推進協議会	齊藤　真吾
平成２９年度草加環境フェア実行委員会	下田　昌孝
平成２９年度草加市クリーンふるさと推進協議会	三橋　親弘
ネット研究委員会	小勝　元貴
草加市社会資本整備総合交付金評価委員会	高原　伸広
草加市公共事業評価監視委員会	高原　伸広
草加松原太鼓橋ロードレース大会実行委員会	加州　洋介

◆２０１７年度　同好会

じゃがいも	キャプテン	松原　明子
野球（チェンバーズ）	ＧＭ	三橋　親弘
中国語	キャプテン	坂井　尚徳
サッカー（グッドフェローズ）	キャプテン	吾妻　祐志
自動二輪	キャプテン	田続　真一
アウトドア＆ムシとり班	班長	高橋　誠
カラオケ	会長	高橋　誠
ダーツ	主将	吾妻　祐志
フィッシング	キャプテン	下田　昌孝
ボウリング	キャプテン	小勝　元貴
バスケット	主将	山崎　凌

〈２０１７年度　会員拡大委員会〉

委員長　吾妻 祐志

会員拡大委員会委員長の吾妻祐志です。『和を以て貴しとなす』ただ同調する上辺だけの関係ではなく、お互いを尊重し理解し時にはぶつかりながら調和していくことをテーマに一年間活動してまいります。

大きな運動や事業をやるうえで、またそれらを効果的に発信し継続していくためには会員の拡大は必須です。２０１７年度は、２０名の新入会員の拡大を付託されております。これを委員会単独で成し遂げることは非常に困難です。現役メンバーの皆様をはじめＯＢ会の諸先輩方々、草加青年会議所に関わる多くの方々のご理解とご協力を賜ることで、達成される目標です。

１００人を超える会員がいた時代から、近年は５０名を切り減少傾向にあります。青年会議所のパワーが衰退しているように思われます。これは、決して地域に必要とされていないからではなく、認知度の低さ、勘違いされているイメージ、魅力の発信の弱さに起因するものと考えます。多種多様な職業の多くの方に入会していただくためには、その人の必要としているものは何か、興味を持っているものは何かを理解し、草加青年会議所に入会することの魅力とメリットをメンバー全員が共有し正確に伝えられる必要があると考えます。草加青年会議所の魅力とは、事業・運動による奉仕、修練による自己の成長、たくさんの人との出会いで育む友情、所属している人（会員の皆様）にあると考えます。

まずはＬＯＭのメンバーと多くの貴重な体験と時間を共有し、その中で意見を交換し合うことで、自己の魅力・仲間の魅力を理解し合い、友情を深め合い、草加青年会議所として発信する魅力を共有していきたいと思います。

入会への門戸を広げるため、前年度からの見込みリストを引き継ぎ新たに作成し、各委員会や青年会議所ＯＢ会様との垣根を超え連携し情報を共有していく協力体制の構築をします。

また、同好会の活動を活発にし、オン・オフの切り替えを明確にして、趣味や特技からの拡大へのアプローチをしていきたいと考えております。

尊重し合い、理解し合い、和を重んじられる仲間となり、メンバーが一丸となって、同じ志、同じ想いの人材を２０名拡大に全力で取り組んでまいります。

＜事業計画＞

正会員２０名の拡大
賛助会員、企業会員の拡大
例会・事業の企画運営
オープン委員会の企画運営
会員親睦事業の企画運営
卒業式の企画運営
わんぱく相撲の企画運営
５０周年準備委員会への参加協力
日本ＪＣ、関東地区、関東ブロックとの連携
関係諸団体との連携
会員研修委員会との協力
各委員会との連携

２０１７会員研修委員会事業方針

委員長　小林　竜

現在、入会３年未満のメンバーが増え、青年会議所ってなんだろう、何をすればいいのだろうと考えるメンバーも少なくはないと感じています。
まずは経験豊かな会員と経験の浅い会員が手を取合い、JC の意義や目的を熟知し、青年会議所活動を共にしていきたいと考えます。

青年会議所の研修とは、定款第３条にもある通り「会員の連携と指導力の啓発に努める」とあります、それを踏まえ委員会では、お互いに自身に足りない能力を見つけ出し、同じ目標に向かって行動していき、意見を交え、「新しい自分を発見していきます」
共に成長して行くために、一人ひとりが責任と自覚と誇りをもち、リーダーとして地域を動かせる原動力になれるよう共に努力していきます。

この一年間で様々な研修の場をメンバーに提供し共に学び、個人の当事者意識も高め、仲間同士で考え学び助け合って繋がりを大事に想い、一人ひとりが関心を持って率先して行動していく人材になる事を目指し活動していきます。

事業計画
＜会員研修委員会＞
　例会・事業の企画運営
　オープン委員会の企画運営
　卒業式の企画運営
　３分間スピーチの企画運営
　５０周年準備委員会への参加協力
　日本ＪＣ、関東地区、関東ブロックとの連携
　関係諸団体との連携
　会員拡大委員会との協力
　各委員会との連携
　会員拡大２名の支援

２０１７年度 青少年・国際交流委員会事業方針

委員長　宇佐美 信幸

２０１７年度 青少年・国際交流委員会では、「夢を持とう」をテーマに掲げ活動していきます。

文部科学省の社会環境の変化と徳育に関する今日的課題によると「日本の若者・子どもたちが、諸外国と比べて『自尊感情』が低く、将来への夢を描けない」という指摘が提示されています。自尊感情は自分自身の価値を見出し、自分を大切にするこころで、「自信」に由来すると言われています。また、グローバル化の時代を迎え、日本はもとより国際社会において、自己を強く意識し、目的に向かって進んでいくためには、自分が生まれ育った地域や国の伝統・文化に誇りを持ち、アイデンティティを確立することが重要です。

そこで、現代の子ども達に不足している多様な経験の機会を提供し、興味・関心を持たせ、自信につなげていくとともに、ふるさと草加に誇りを持つことができるような事業を展開していきます。

具体的には、草加の伝統・文化・歴史などを学び、地域の人々と交流する機会を設け、郷土愛を育みます。そして、外国人とのコミュニケーションの機会を設け、国際感覚の醸成、抵抗感の払しょくを図ります。２０１５年日本を訪れた外国人観光客は１９７４万人と出国日本人数を４５年ぶりに上回り、日本政府は２０２０年４０００万人、２０３０年６０００万人を目標としています。東京オリンピック・パラリンピックの開催もあり、これからますます外国人と接する機会は増えるとともに、相手の文化を尊重し、思いやるという国際感覚が重要になってきます。この経験が始まりとなり海外の文化や言語などに興味・関心を持ち、自信をつけ、大きな夢とともに草加の地から日本そして世界へと羽ばたいてもらうことを目指して事業を行います。

また、青少年育成事業は地域の方々や保護者、行政、教育関係者など地域全体を巻き込むことが必要です。積極的に地域と連携して、将来、子ども達がこころの拠り所としてふるさとを愛し、夢を持って、国際的に活躍するための一助となれるよう、一年間活動していきます。

＜事業計画＞

例会・事業の企画運営
オープン委員会の企画運営
青少年健全育成事業の企画運営
国際交流事業の模索検討
春の子どもフェスタの企画運営
ユースサミット事業の企画運営

５０周年準備委員会への参加協力
日本ＪＣ、関東地区、関東ブロックとの連携
関係諸団体との連携
各委員会との連携
会員拡大２名の支援

２０１７地域開発委員会事業方針

委員長　木内 慎一

本年度の地域開発委員会は「草加市民の当事者意識向上」をテーマに掲げ一年間活動する。

「何故草加に住み続けているのか？」「次世代にどのような草加を残したいのか？」「次世代に残したい草加は誰がつくるのか？」等を草加市民に問い、普段何気なく過ごしている市民が郷土愛を深め誇りを持て、当事者意識が高まるような切っ掛けを提供する。

また、先輩方が築き上げて来られた実績及び我々青年経済人としての若さや実行力を活かし、行政との連携を更に強化する。行政との意見交換の場を設けることで、これまで以上に有意義な事業を行うための地盤を固める。

草加に住み続けたいと願う市民は８１％を超えているが、活気があると感じている割合はたったの２２％である。草加松原が国指定名勝に登録され、もうじき３年となる。国指定名勝を有する草加松原、市民一人ひとりが『自分たちのまちは自分たちでつくる』という当事者意識を抱き、郷土愛溢れる誇りを持った市民が増えるような事業展開を行う。

更に、草加市外や諸外国の観光客へ草加の魅力を伝播し、草加を観光地として認識させ、訪れてみたい・住んでみたいと思えるまちづくりを行っていく。

＜事業計画＞
・例会・事業の企画運営
・オープン委員会の企画運営
・草加松原夢祭りの組織運営
・５０周年準備委員会への参加協力
・日本JC、関東地区、関東ブロックとの連携
・関係諸団体との連携
・各委員会との連携
・会員拡大２名の支援

2017年度総務グループ方針

事務局長　三輪興之郎

公益社団法人草加青年会議所の事業は担当の委員会だけが行うものではなく、メンバー全員で成功させるものだと思います。その為に総務グループでは意思決定の場である総会や理事会を集中して議論できる環境をとするために不備のない会場設営をいたします。また、各委員会が業務効率の向上や円滑な組織運営をするために事務局の書類管理を行います。総務グループという立場でできることを精一杯おこない、LOMメンバーから信頼され、組織の運営に必要とされる存在として組織の一端を担い、各委員会の側面（ホームページやSNS等）をサポートすることによって公益社団法人草加青年会議所の発信する運動の効果を高め、現役メンバーのみならず、これから入会していくメンバーの努力が、地域から共感される組織として「誇り」を持って活動できるよう努めます。それが導線となって、オブザーバーの増加や新入会員の獲得に繋がると考えます。

我々、総務グループは頑張っている各委員会の側面をサポートする総務グループでありたいと思っています。

一年間、どうぞよろしくお願い致します。

＜総務グループ＞

例会・事業の企画運営
関係官庁への書類提出・連絡調整窓口
各諸会議議事録・報告書等の文章作成
財務管理
ＨＰの管理・掲載
定款・諸規定の見直し
開発の発行
５０周年準備委員会への参加協力
日本ＪＣ、関東地区、埼玉ブロックとの連携
関係諸団体との連携
各委員会との連携
会員拡大２名の支援

２０１７年度　５０周年特別会議　事業方針

議長　　齊藤 真吾

２０１８年度に５０周年という節目の年を迎えるにあたり、我々はこの草加青年会議所の歴史を作り上げてきた先輩方が、どのような思いで活動・運動を行ってきたのかを改めて認識し、今後も我々が地域に市民に必要とされる組織であり続ける為に、よりよい青年会議所運動を展開していく事が必要であり、会員一人ひとりもまた、今まで以上に高い意識を持ち活動し、歴史を知った上での誇りを次代へと継承していくことが必要です。

我々は半世紀に亘り活動し続けられるのは、 多くの先輩諸兄が熱い想いと覚悟をもち、まちづくりのために取り組んでこられた運動の成果の積み重ねと、永年に亘り築かれてきた地域の方々との信頼関係が保たれているからです。この設立５０周年という輝かしい節目にあたり、メンバー全員がその歴史と功績に敬意と感謝の気持ちを伝えると共に、未来へ向け更なる飛躍をしていきます。

５０周年特別会議では、メンバーが一丸となって５０周年事業に取り組めるよう、情報の共有を徹底し、周年に対する意識の統一を図ります。そして諸先輩方や地域の皆様に感謝の意を表すと共に、今後の更なるご理解と連携に繋げることができる機会をつくり、時代に即した新たな事業を展開することで次代へと繋げるよう積極的に運動展開をしてまいります。

設立５０周年を通じて我々が失敗を恐れずに挑戦し続ける行動は、常に変化し続ける地域の中で、諸先輩方から学んだ変わらぬ理念を有する我々の存在価値、意義を地域に確立させ、新たな発見と進化した運動へと繋げ、地域で必要とされ未来永劫存続し続ける団体になるものと信じ情熱を持って行動し、来年度へと繋がる事業構築を行います。

＜事業計画＞

オープン委員会の企画運営

毎月１回の委員会開催

５０周年事業に関わる企画・立案・調査

各委員会との連携

第 ３ 号 議 案 資 料

２０１７年度収支予算　承認に関する件

一般会計収支予算書(案)

公益社団法人 草加青年会議所 2017年度

自 2017年 1月 1日
至 2017年 12月31日

(単位:円)

科　　目	2017年度予算	2016年度予算	増減	摘要
Ⅰ. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①入会金収入				
入会金収入	400,000	300,000	100,000	20,000円×20名
②会費収入				
正会員会費	6,360,000	6,240,000	120,000	120,000円×53名
新入会員会費	1,200,000	900,000	300,000	60,000円×20名
特別会員会費	1,494,000	1,476,000	18,000	18,000円×83名
賛助会員会費	36,000	36,000	0	12,000円×3社
③事業会計収入				
登録料収入	0	480,000	▲ 480,000	
広告料収入	36,000	36,000	0	18,000円×2社
④預かり金収入				
預かり金収入	0	0	0	日本JC大会登録料他
⑤寄付金収入				
寄付金収入	360,000	360,000	0	OB会
⑥雑収益				
受取利息収入	1,000	1,000	0	
その他雑収入	10,000	10,000	0	JCカード割戻金
⑦他会計からの繰入金収入				
事業安定化会計繰入収入	0	0	0	
周年事業積立会計繰入収入	0	0	0	
事業活動収入計 (A)	9,897,000	9,839,000	58,000	
2. 事業活動支出				
①事業費支出				
拡大室				
会員拡大委員会				
担当例会事業費	300,000	300,000	0	
オープン委員会事業費	50,000	100,000	▲ 50,000	
委員会運営費	30,000	30,000	0	
新入会員記念品費	130,000	130,000	0	
わんぱく相撲運営費	150,000	100,000	50,000	
会員拡大委員会支出計	660,000	660,000	0	
拡大室支出計	(660,000)	(660,000)	(0)	
研修室				
会員研修委員会				
担当例会事業費	50,000	0	50,000	
オープン委員会事業費	80,000	0	80,000	
委員会運営費	30,000	0	30,000	
会員研修委員会支出計	160,000	0	160,000	
研修室支出計	(160,000)	(0)	(160,000)	
育成室				
青少年・国際交流委員会				
担当例会事業費	100,000	100,000	0	
企画事業費	680,000	680,000	0	春フェス・ユース等
ｵｰﾌﾟﾝ委員会事業費	30,000	30,000	0	
委員会運営費	30,000	30,000	0	
青少年・国際交流委員会支出計	840,000	840,000	0	旧青少年健全育成委員会
育成室支出計	(840,000)	(840,000)	(0)	
地域室				
地域開発委員会				

担当例会事業費	100,000	100,000	0	
企画事業費	1,200,000	1,180,000	20,000	
ｵｰﾌﾟﾝ委員会事業費	30,000	30,000	0	
委員会運営費	30,000	30,000	0	
地域開発委員会支出計	1,360,000	1,340,000	20,000	
地域室支出計	(1,360,000)	(1,340,000)	(20,000)	
総務グループ				
事務局･財政局				
担当例会事業費	80,000	100,000	▲ 20,000	
ｵｰﾌﾟﾝ委員会事業費	0	30,000	▲ 30,000	
委員会運営費	30,000	30,000	0	
総務関係費	400,000	400,000	0	
報告書作成費	100,000	100,000	0	
社団法人登録費	30,000	30,000	0	
記録費	10,000	10,000	0	
広報費	20,000	200,000	▲ 180,000	HP管理料
事務局財政局支出計	670,000	900,000	▲ 230,000	
総務グループ支出計	(670,000)	(900,000)	(▲ 230,000)	
選挙管理委員会				
選挙管理委員会				
担当例会事業費	20,000	0	20,000	
オープン委員会事業費	10,000	10,000	0	
公聴会関係費	10,000	10,000	0	
委員会運営費	10,000	10,000	0	
選挙管理委員会支出計	(50,000)	(30,000)	(20,000)	
特別事業支出				
50周年特別会議費	50,000	200,000	▲ 150,000	
特別事業費	300,000	210,000	90,000	サッカー大会･賀詞交歓会等
渉外事業費	722,535	153,060	569,475	周年事業登録料
特別事業支出計	(1,072,535)	(563,060)	(509,475)	
事業会計支出				
登録料支出	0	480,000	▲ 480,000	
委員会事業支出	0	0	0	
周年事業支出	0	0	0	
事業会計支出計	(0)	(480,000)	(▲ 480,000)	
事業費支出計	【 4,812,535 】	【 4,813,060 】	【 ▲ 525 】	(　)の合計
② 管理費支出				
理事会費支出	30,000	30,000	0	会場使用料
特別会議費支出	30,000	30,000	0	役員会議他
通信費支出	300,000	300,000	0	葉書電話郵送料
什器備品費支出	380,000	380,000	0	コピー使用料他
消耗費支出	200,000	200,000	0	JC手帳･事務用品
給与手当支出	1,080,000	1,080,000	0	人件費
賃借料支出	710,000	710,000	0	事務局賃借料
交際費支出	50,000	50,000	0	広告名刺代
修繕費支出	20,000	20,000	0	
保険料支出	20,000	20,000	0	労働保険料
雑費支出	30,000	30,000	0	支払手数料
渉外費支出	210,000	210,000	0	出向会議費･登録料
慶弔費支出	150,000	100,000	50,000	冠婚葬祭費
旅費交通費支出	5,000	5,000	0	大会用旅費
諸会費支出	90,000	90,000	0	公的機関年会費
管理費支出計	【 3,305,000 】	【 3,255,000 】	【 50,000 】	
③ 負担金支出				
ＪＣＩ負担金	100,740	93,840	6,900	1,380円×73名
日本JC負担金	410,000	385,000	25,000	5,000円×73名＋45,000円
関東地区協負担金	56,500	54,000	2,500	500円×73名+20,000円
埼玉ブロック負担金	458,000	428,000	30,000	6,000円×73名+20,000円

国際協力基金	133,225	124,100	9,125	1,825円×73名
日本JC出向者負担金	0	80,000	▲ 80,000	
We Believe 購読料	219,000	204,000	15,000	3,000円×73名
負担金支出計	【 1,377,465 】	【 1,368,940 】	【 8,525 】	
④預かり金支出	【 0 】	【 0 】	【 0 】	日本JC登録料他
⑤他会計への繰入金支出				
周年事業積立会計繰入支出	300,000	300,000	0	
退職積立預金繰入支出	102,000	102,000	0	
他会計への繰入金支出計	【 402,000 】	【 402,000 】	【 0 】	
事業活動支出計 (B)	9,897,000	9,839,000	58,000	【 】の合計
事業活動収支差額 (A-B)	〔 0 〕	〔 0 〕	〔 0 〕	
Ⅱ. 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	〔 0 〕	〔 0 〕	〔 0 〕	
Ⅲ. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	〔 0 〕	〔 0 〕	〔 0 〕	
Ⅳ. 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	0	0	0	〔 〕の合計-予備費

事業安定化会計収支予算書(案)

公益社団法人 草加青年会議所 2017年度

自 2017年 1月 1日
至 2017年 12月31日

(単位:円)

科　　目	2017年度予算	2016年度予算	増減	摘要
Ⅰ. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
⑥ 雑収益				
受取利息	1,000	1,000	0	
⑦ 他会計からの繰入金				
一般会計繰入収入			0	
事業活動収入計 (A)	1,000	1,000	0	
2. 事業活動支出				
⑤ 他会計への繰入金支出				
一般会計繰入支出	0	0	0	
事業活動支出計 (B)	0	0	0	
事業活動収支差額 (A-B)	1,000	1,000	0	
Ⅱ. 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
Ⅲ. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	1,000	1,000	0	

公益事業緊急対策会計収支予算書(案)

公益社団法人 草加青年会議所 2017年度

自 2017年 1月 1日
至 2017年 12月31日

(単位:円)

科　　目	2017年度予算	2016年度予算	増減	摘要
Ⅰ．事業活動収支の部				
1．事業活動収入				
⑥雑収益				
受取利息	1,000	1,000	0	
⑦他会計からの繰入金				
一般会計繰入収入	0	0	0	
事業活動収入計 (A)	1,000	1,000	0	
2．事業活動支出				
⑤他会計への繰入金支出				
一般会計繰入支出	0	0	0	
事業活動支出計 (B)	0	0	0	
事業活動収支差額 (A-B)	1,000	1,000	0	
Ⅱ．投資活動収支の部				
1．投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2．投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
Ⅲ．財務活動収支の部				
1．財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2．財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	1,000	1,000	0	

周年事業積立会計収支予算書(案)

公益社団法人 草加青年会議所 2017年度

自 2017年 1月 1日
至 2017年 12月31日

(単位:円)

科　　目	2017年度予算	2016年度予算	増減	摘要
Ⅰ．事業活動収支の部				
1．事業活動収入				
⑥雑収益				
受取利息	500	500	0	
⑦他会計からの繰入金				
一般会計繰入収入	300,000	300,000	0	
事業活動収入計 (A)	300,500	300,500	0	
2．事業活動支出				
⑤他会計への繰入金支出				
一般会計繰入支出	0	0	0	
事業活動支出計 (B)	0	0	0	
事業活動収支差額 (A-B)	300,500	300,500	0	
Ⅱ．投資活動収支の部				
1．投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2．投資活動支出			0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
Ⅲ．財務活動収支の部				
1．財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2．財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	300,500	300,500	0	

退職金積立会計収支予算書(案)

公益社団法人 草加青年会議所 2017年度

自 2017年 1月 1日
至 2017年 12月31日

(単位:円)

科　　目	2017年度予算	2016年度予算	増減	摘要
Ⅰ. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
⑥ 雑収益				
受取利息	3,000	3,000	0	
⑦ 他会計からの繰入金				
一般会計繰入収入	102,000	102,000	0	
事業活動収入計 (A)	105,000	105,000	0	
2. 事業活動支出				
⑤ 他会計への繰入金支出				
一般会計繰入支出	0	0	0	
事業活動支出計 (B)	0	0	0	
事業活動収支差額 (A-B)	105,000	105,000	0	
Ⅱ. 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出			0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
Ⅲ. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	105,000	105,000	0	

法人名	公益社団法人　草加青年会議所

2017年度　収支予算書

2017年1月1日から年12月31日まで

（単位：円）

科　目	公益目的事業会計						収益事業等会計				法人会計	合計
	青少年育成事業	地域貢献事業	国際交流事業	環境保全事業	共通	小計	会員研修事業	会員交流事業	共通	小計		
（1）経常収益												
受取入会金	0	0	0	0	160,000	160,000	0	0	80,000	80,000	160,000	400,000
新入会員入会金	0	0	0	0	160,000	160,000	0	0	80,000	80,000	160,000	400,000
受取会費	0	0	0	0	3,636,000	3,636,000	0	0	1,818,000	1,818,000	3,636,000	9,090,000
正会員会費	0	0	0	0	2,544,000	2,544,000	0	0	1,272,000	1,272,000	2,544,000	6,360,000
新入会員会費	0	0	0	0	480,000	480,000	0	0	240,000	240,000	480,000	1,200,000
特別会員会費	0	0	0	0	597,600	597,600	0	0	298,800	298,800	597,600	1,494,000
賛助会員会費	0	0	0	0	14,400	14,400	0	0	7,200	7,200	14,400	36,000
事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青少年育成事業参加費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域貢献事業参加費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際交流事業参加費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
環境保全事業参加費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会員研修事業参加費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会員交流事業参加費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	360,000	360,000
寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	360,000	360,000
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47,000	47,000
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0		1,000	1,000
その他雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46,000	46,000
経常収益計	0	0	0	0	3,796,000	3,796,000	0	0	1,898,000	1,898,000	4,203,000	9,897,000

法人名	公益社団法人　草加青年会議所

2017年度　収支予算書

2017年1月1日から年12月31日まで

（単位：円）

科　目	公益目的事業会計						収益事業等会計				法人会計	合計
	青少年育成事業	地域貢献事業	国際交流事業	環境保全事業	共通	小計	会員研修事業	会員交流事業	共通	小計		
（2）経常費用												
事業費	2,119,343	2,223,110	0	0	0	4,342,453	275,945	705,036	0	980,981		5,323,434
会場設営費	190,000	160,000	0	0	0	350,000	20,000	220,000	0	240,000		590,000
企画・演出費	350,000	560,000	0	0	0	910,000	60,000	170,000	0	230,000		1,140,000
講師関係費	40,000	190,000	0	0	0	230,000	20,000	0	0	20,000		250,000
広報費	120,000	190,000	0	0	0	310,000	0	0	0	0		310,000
資料作成費	40,000	190,000	0	0	0	230,000	0	0	0	0		230,000
旅費	20,000	0	0	0	0	20,000	0	10,000	0	10,000		30,000
記念品費	170,000	0	0	0	0	170,000	0	50,000	0	50,000		220,000
保険料	20,000	20,000	0	0	0	40,000	20,000	0	0	20,000		60,000
切手代	10,000	20,000	0	0	0	30,000	10,000	0	0	10,000		40,000
通信・発送費	92,857	71,429	0	0	0	164,286	14,286	14,286	0	28,571		192,857
什器備品費	133,514	102,703	0	0	0	236,216	20,541	20,541	0	41,081		277,297
消耗品費	33,766	25,974	0	0	0	59,740	2,597	111,688	0	114,286		174,026
賃借料	307,667	236,667	0	0	0	544,333	23,667	23,667	0	47,333		591,667
広告費	8,966	6,897	0	0	0	15,862	0	0	0	0		15,862
会議費	42,500	34,000	0	0	0	76,500	42,500	42,500	0	85,000		161,500
労働保険料	8,667	6,667	0	0	0	15,333	667	667	0	1,333		16,667
修繕費	8,667	6,667	0	0	0	15,333	667	667	0	1,333		16,667
雑費	10,541	8,108	0	0	0	18,649	1,622	1,622	0	3,243		21,892
給料手当	468,000	360,000	0	0	0	828,000	36,000	36,000	0	72,000		900,000
退職給付費用	44,200	34,000	0	0	0	78,200	3,400	3,400	0	6,800		85,000

法人名	公益社団法人　草加青年会議所

2017年度　収支予算書

2017年1月1日から年12月31日まで

（単位：円）

科　目	公益目的事業会計						収益事業等会計				法人会計	合計
	青少年育成事業	地域貢献事業	国際交流事業	環境保全事業	共通	小計	会員研修事業	会員交流事業	共通	小計		
管理費												
通信・発送費											107,143	107,143
什器備品費											102,703	102,703
消耗品費											25,974	25,974
賃借料											118,333	118,333
広告費											4,138	4,138
会議費											178,500	178,500
労働保険料											3,333	3,333
修繕費											3,333	3,333
雑費											8,108	8,108
給料手当											180,000	180,000
退職給付費用											17,000	17,000
交際費											50,000	50,000
渉外費											210,000	210,000
慶弔費											150,000	150,000
交通費											5,000	5,000
諸会費											90,000	90,000
会員記念品費											130,000	130,000
報告書作成費											100,000	100,000
印刷製本費											400,000	400,000
社団法人登録費											30,000	30,000
記録費											10,000	10,000
JCI負担金											100,740	100,740

法人名	公益社団法人　草加青年会議所

2017年度　収支予算書

2017年1月1日から年12月31日まで

（単位：円）

科　目	公益目的事業会計						収益事業等会計				法人会計	合計
	青少年育成事業	地域貢献事業	国際交流事業	環境保全事業	共通	小計	会員研修事業	会員交流事業	共通	小計		
日本JC負担金											410,000	410,000
関東地区負担金											56,500	56,500
埼玉ブロック負担金											458,000	458,000
国際協力基金											133,225	133,225
日本JC出向者負担金											0	0
雑誌購読料											219,000	219,000
経常費用計	2,119,343	2,223,110	0	0	0	4,342,453	275,945	705,036	0	980,981	3,301,031	8,624,465
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,119,343	△ 2,223,110	0	0	3,796,000	△ 546,453	△ 275,945	△ 705,036	1,898,000	917,019	901,969	1,272,535
基本財産評価損益等						0				0		0
特定資産評価損益等						0				0		0
投資有価証券評価損益等						0				0		0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,119,343	△ 2,223,110	0	0	3,796,000	△ 546,453	△ 275,945	△ 705,036	1,898,000	917,019	901,969	1,272,535
経常外増減の部												0
（1）経常外収益												0
中科目別記載	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（2）経常外費用												0
中科目別記載	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,119,343	△ 2,223,110	0	0	3,796,000	△ 546,453	△ 275,945	△ 705,036	1,898,000	917,019	901,969	1,272,535

収入額

入会金収入			会費収入			9,090,000	事業収入	0	広告料収入			雑収入	11,000	寄付金収入	360,000
20	名	400,000	正会員会費	53	名	6,360,000	公1	0	2	社	36,000	利息　一般会計	1,000	事務局寄付	360,000
			新入会員会費	20	名	1,200,000	公2	0				利息　事業安定化	0		
			特別会員会費	83	名	1,494,000	公3	0				利息　公益事業	0		
			賛助会員会費	3	社	36,000	公4	0				利息　周年	0		
												その他雑収入	10,000		

他会計繰入
0

収入合計	9,897,000
17年度会計合計	9,897,000

事業予算

	公1(青少年)	わんぱく相撲	サッカー	春フェス	公2(地域)	公3(国際)	その他1(研修)	その他2(交流)	卒業式	賀詞交歓会
総額	560,000	150,000	100,000	150,000	1,330,000	100,000	130,000	100,000	250,000	100,000
会場設営費	40,000	0	100,000	50,000	160,000	30,000	20,000	20,000	100,000	100,000
企画・演出費	250,000	0	0	100,000	560,000	20,000	60,000	70,000	100,000	0
講師関係費	40,000	0	0	0	190,000	20,000	20,000	0	0	0
広報費	120,000	0	0	0	190,000	10,000	0	0	0	0
資料作成費	40,000	0	0	0	190,000	10,000	0	0	0	0
旅費	20,000	0	0	0	0		0	10,000	0	0
記念品費	20,000	150,000	0	0	0		0	0	50,000	0
保険費	20,000	0	0	0	20,000		20,000	0	0	0
通信代	10,000	0	0	0	20,000	10,000	10,000	0	0	0
合計	560,000	150,000	100,000	150,000	1,330,000	100,000	130,000	100,000	250,000	100,000

公益事業費残	355,076

共益事業費残	517,459

管理費

管理費支出		負担金支出	
通信・発送費	300,000	ＪＣＩ負担金	100,740
什器備品費	380,000	日本JC負担金	410,000
消耗品費	200,000	関東地区協負担金	56,500
賃借料	710,000	埼玉ブロック負担金	458,000
広告費	20,000	国際協力基金	133,225
会議会場費	340,000	日本JC出向者負担金	0
労働保険料	20,000	We Believe 購読料	219,000
修繕費	20,000		
雑費	30,000		
給与手当	1,080,000		
退職金積立	102,000		
交際費	50,000		
渉外費	210,000		
慶弔費	150,000		
交通費	5,000		
諸会費	90,000		
会員記念品費	130,000		
報告書作成費	100,000		
印刷製本費	400,000		
社団法人登録費	30,000		
記録費	10,000		
合計	4,377,000	合計	1,377,465

会議会場費	
会員拡大委員会費	30,000
会員研修委員会費	30,000
青少年・国際交流委員会費	30,000
地域開発委員会費	30,000
（国際委員会費）	0
総務グループ会費	30,000
選挙管理委員会費	10,000
理事会費支出	30,000
特別会議費支出	30,000
総務グループ例会費	80,000
総務グループOP委員会費	0
選挙管理委員会例会費	20,000
公聴会関係費	10,000
選挙管理委員会OP委員会費	10,000
会議会場費 合計	340,000

各事業に関連する費用額の配賦計算表

番号	科目名	各事業に関連する費用		配賦基準	公益目的事業会計						収益事業等会計				法人会計
		費用の名称	費用の額		公1 青少年育成事業	公2 地域貢献事業	公3 国際交流事業	公4 環境保全事業	共通	小計	他1 会員研修事業	他2 会員交流事業	共通	小計	
1	通信・発送費	通信・発送費	300,000	使用割合	13	10	0	0		23	2	2		4	15
					31.0%	23.8%	0.0%	0.0%	0.0%	54.8%	4.8%	4.8%	0.0%	9.5%	35.7%
					92,857	71,429	0	0	0	164,286	14,286	14,286	0	28,571	107,143
2	什器備品費	什器備品費	380,000	使用割合	13	10	0	0		23	2	2		4	10
					35.1%	27.0%	0.0%	0.0%	0.0%	62.2%	5.4%	5.4%	0.0%	10.8%	27.0%
					133,514	102,703	0	0	0	236,216	20,541	20,541	0	41,081	102,703
3	消耗品費	消耗品費	200,000	使用割合	13	10	0	0		23	1	43		44	10
					16.9%	13.0%	0.0%	0.0%	0.0%	29.9%	1.3%	55.8%	0.0%	57.1%	13.0%
					33,766	25,974	0	0	0	59,740	2,597	111,688	0	114,286	25,974
4	賃借料	賃借料	710,000	使用割合	13	10	0	0		23	1	1		2	5
					43.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	76.7%	3.3%	3.3%	0.0%	6.7%	16.7%
					307,667	236,667	0	0	0	544,333	23,667	23,667	0	47,333	118,333
5	広告費	広告費	20,000	使用割合	13	10	0	0		23				0	6
					44.8%	34.5%	0.0%	0.0%	0.0%	79.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.7%
					8,966	6,897	0	0	0	15,862	0	0	0	0	4,138
6	会議費	会議室使用料	340,000	使用割合	10	8	0	0		18	10	10		20	42
					12.5%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.5%	12.5%	12.5%	0.0%	25.0%	52.5%
					42,500	34,000	0	0	0	76,500	42,500	42,500	0	85,000	178,500
7	労働保険料	労働保険料	20,000	従事割合	13	10	0	0		23	1	1		2	5
					43.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	76.7%	3.3%	3.3%	0.0%	6.7%	16.7%
					8,667	6,667	0	0	0	15,333	667	667	0	1,333	3,333
8	修繕費	修繕費	20,000	使用割合	13	10	0	0		23	1	1		2	5
					43.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	76.7%	3.3%	3.3%	0.0%	6.7%	16.7%
					8,667	6,667	0	0	0	15,333	667	667	0	1,333	3,333
9	雑費	振込み手数料	30,000	使用割合	13	10	0	0		23	2	2		4	10
					35.1%	27.0%	0.0%	0.0%	0.0%	62.2%	5.4%	5.4%	0.0%	10.8%	27.0%
					10,541	8,108	0	0	0	18,649	1,622	1,622	0	3,243	8,108
10	給料手当	給料手当	1,080,000	従事割合	13	10	0	0		23	1	1		2	5
					43.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	76.7%	3.3%	3.3%	0.0%	6.7%	16.7%
					468,000	360,000	0	0	0	828,000	36,000	36,000	0	72,000	180,000
	ページ 合 計		3,100,000		1,115,143	859,110	0	0		1,974,253	142,545	251,636		394,181	731,566

事業年度			

番号	科目名	各事業に関連する費用		配賦基準	公益目的事業会計										法人会計
		費用の名称	費用の額		公1 青少年育成事業	公2 地域貢献事業	公3 国際交流事業	公4 環境保全事業	共通	小計	他1 会員研修事業	他2 会員交流事業	共通	小計	
11	退職給付費用	退職給付費用	102,000	従事割合	13	10	0	0		23	1	1		2	5
					43.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	76.7%	3.3%	3.3%	0.0%	6.7%	16.7%
					44,200	34,000	0	0	0	78,200	3,400	3,400	0	6,800	17,000
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
	ページ 合 計		102,000		44,200	34,000	0	0		78,200	3,400	3,400		6,800	17,000

公益事業費率計算表

公益事業名	公益予算額	共益事業名	共益予算額
わんぱく相撲（公1）	150,000	卒業式	250,000
サッカー大会(特別事業費より)（公1）	100,000	賀詞交歓会(特別事業費より)	100,000
春フェス協賛金（公1）	150,000	その他1(研修)	130,000
公1(青少年)	560,000	その他2(交流)	100,000
公2(地域)	1,330,000		
公3(国際)	100,000		
公4(環境)	0		
小計	2,390,000	小計	580,000

負担金	予算額		共益予算額
JCI負担金	100,740		100,740
日本JC負担金	410,000		410,000
地区負担金	56,500		56,500
ブロック負担金	458,000		458,000
国際協力基金	133,225		133,225
日本JC出向者負担金	0		0
We Believe購読料	219,000		219,000
小計	1,377,465		1,377,465

管理費	配賦率	決算額	公益予算額		共益予算額
通信・発送費	54.8	300,000	164,400		135,600
什器備品費	62.2	380,000	236,360		143,640
消耗品費	29.9	200,000	59,800		140,200
賃借料	76.7	710,000	544,570		165,430
広告費	79.3	20,000	15,860		4,140
会議会場費	22.5	340,000	76,500		263,500
労働保険料	76.7	20,000	15,340		4,660
修繕費	76.7	20,000	15,340		4,660
雑費	62.2	30,000	18,660		11,340
給与手当	76.7	1,080,000	828,360		251,640
退職金積立	76.7	102,000	78,234		23,766
交際費		50,000			50,000
渉外費		210,000			210,000
慶弔費		150,000			150,000
交通費		5,000			5,000
諸会費		90,000			90,000
会員記念品費		130,000			130,000
報告書作成費		100,000			100,000
印刷製本費		400,000			400,000
社団法人登録費		30,000			30,000
記録費		10,000			10,000
小計		4,377,000	2,053,424		2,323,576
周年積立金		300,000	公益事業比率に算入不可		
総収入			9,897,000	残額	872,535
公益事業費合計			4,443,424	共益事業費合計	4,281,041
総合計			9,024,465	公益目的事業費率	51%

※ 公1 960,000円
※ 公2 1,330,000円
※ 公3 100,000円

第　４　号　議　案　資　料

２０１７年度公益目的事業計画　承認に関する件

2017年度 年間事業計画書

公益社団法人　草加青年会議所

事業番号	公1				
事業内容	草加に居住する児童又は青少年の健全な育成を目的とする講演、実践教育等の事業				
事業対象者	草加在住の市民	作成者	宇佐美　信幸	役職	委員長
事業予算	990,000	確認者	齊藤　真吾	役職	副理事長
別表の号	青少年育成				
事業分類	講座、セミナー、育成　　体験活動等　　競技会				
事業の目的	未来を担う子ども達が自らの未来を描ける環境は地域の活力となり、大人として伝えることのできる教育を通じ、希望に満ちた地域を未来へ継承していく必要があります。 そのためには、青少年に対して、自分自身を大切にし、取り巻く環境を理解し、大切にすることで、夢や目標を持ってもらうことが重要です。 当事業では子ども達に多様な経験の機会を提供し、興味・関心を持たせ、自らを誇りに思い、自信を持って行動できる青少年の育成を目的とします。 また、競技会として「わんぱく相撲」を開催します。参加する選手に「スポーツとしての相撲」を通じ、「礼」を学び、「努力する」ことや「思いやり」など、社会生活に必要な特性を涵養することを事業の目的とします。 そして、青少年育成事業は地域の方々や保護者、行政、教育関係者など地域全体を巻き込むことが必要であり、地域の諸団体と連携して健全育成事業を展開することを目指します。				
事業の概要	事業実施手順としては、4月末に予定しているメインの体験型イベントに向けて、講座や制作作業などの活動を月に数回行います。その後、地域の資源や文化、歴史を学ぶ活動を中心に月に1回程度屋内外で行います。 「わんぱく相撲」は6月に行われる「市内青少年相撲大会」にて優秀な成績を収めた選手が、「わんぱく相撲埼玉大会」に出場でき、入賞すると8月に行われる全国大会に出場できます。 また、各諸団体と連携を取り、多方面でのコミュニケーション機会の増大につなげます。				
その他の説明	特になし				

2017年度 年間事業計画書

公益社団法人　草加青年会議所

事業番号	公2				
事業内容	草加の地域社会の健全な発展に貢献することを目的とする講座、調査等の事業				
事業対象者	草加市民、市外在住者、観光客	作成者	木内慎一	役職	委員長
事業予算	1,360,000円	確認者	高原伸広	役職	副理事長
別表の号	地域貢献				
事業分類	講座、セミナー、育成、体験活動等、調査・資料収集				

事業の目的	草加地域社会の健全な発展には、市内の経済活性化が必要不可欠です。我々が普段住み暮らしている草加に対し郷土愛を持ち草加を誇りに思い、その魅力を市外各所へ発信することで、観光客や草加に居住したい方を誘致することに繋げることが出来ます。幸い2020年には東京オリンピックが開催され、東京のベッドタウンである草加も注目されることが予想されます。現段階から諸外国の観光客へ草加の魅力を伝播し、観光地として認識していただくことで、2020年の東京オリンピック時、延いてはそれ以降も継続的に訪れていただけます。草加市の観光基本計画にもあるように、「訪れてみたい・住んでみたい」と思える魅力あるまちづくりを行い、草加市の地域経済が益々活性化される一助となるべく、本年度の事業を行います。
事業の概要	草加市民の心のよりどころでもある国指定名勝「草加松原」のプロモーション活動を草加市外へ対して行い、外国籍の方や草加市外在住の方にも興味関心を持っていただきます。「草加松原夢祭り」を7月に開催予定であり、その祭りに足を運んでいただくことで、草加の魅力を伝播し、草加のブランド力を高め、草加を観光名所にしていきます。また、国指定名勝「草加松原」のプロモーション活動を通じて草加市民一人ひとりが「自分たちのまちは自分たちでつくる」という当事者意識を抱き、観光客との交流を図れるような事業展開を行います。
その他の説明	

2017年度 年間事業計画書

公益社団法人　草加青年会議所

事業番号	公3				
事業内容	国際相互理解の促進及び国際社会への貢献を目的とする体験活動の事業				
事業対象者	草加在住の市民	作成者	宇佐美　信幸	役職	委員長
事業予算	100,000	確認者	齊藤　真吾	役職	副理事長
別表の号	国際交流事業				
事業分類	体験活動等				
事業の目的	日本を訪れる外国人観光客数が急増しており、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、これからますます外国人と接する機会が増えることが想定されます。 そのため、当事業では子ども達に対して外国人と交流する機会を提供し、相手の文化を尊重し、思いやるという国際感覚を身に着けてもらうことを目的とします。				
事業の概要	年間を通し、海外の文化や言語に触れることのできる国際交流を目的とした体験型イベント、体験型学習を行い、国際感覚の醸成、抵抗感の払しょくを図ります。 活動は青少年事業と共し、地域住民や関係諸団体とも連携して事業を実施していきます。				
その他の説明	特になし				

2017年度 年間事業計画書

公益社団法人　草加青年会議所

事業番号	公4				
事業内容	環境保全を目的とする体験活動、講演会、調査・資料収集等の事業				
事業対象者		作成者	加州　洋介	役職	代表理事
事業予算		確認者		役職	
別表の号					
事業分類					

事業の目的	
事業の概要	
その他の説明	2017年度は環境保全事業は計画いたしません。

第　５　号　議　案　資　料

２０１７年度資金調達及び設備投資　見込みに関する件

資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類（案）

公益社団法人草加青年会議所

（平成２９年１月１日から平成２９年１２月３１日まで）

（１）資金調達の見込みについて

平成２９年度中に資金調達予定はありません。

（２）設備投資の見込みについて

平成２９年度中に設備投資予定はありません。

以　上

参　考　資　料

公益社団法人草加青年会議所　2017年度　年間スケジュール（案）

9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
1 木		1 土		1 火		1 木		1 日		1 水		1 水		1 土		1 月		1 木		1 土		1 火		1 金		1 日	全国大会（埼玉）	1 水		1 金	
2 金		2 日		2 水		2 金	第2回新運営会議	2 月		2 木	賀詞交歓会（仮）（執行部）	2 木		2 日		2 火		2 金	七月度運営会議	2 日	七月度例会（仮）（地域）	2 水		2 土		2 月		2 木	十二月度運営会議	2 土	
3 土		3 月		3 木		3 土		3 火		3 金		3 金		3 月	五月度運営会議	3 水		3 土		3 月		3 木		3 日		3 火		3 金		3 日	
4 日		4 火	十一月度運営会議	4 金	第1回新運営会議	4 日		4 水		4 土		4 土		4 火		4 木		4 日		4 火		4 金		4 月	十月度運営会議	4 水		4 土		4 月	十二月第1例会（総務）
5 月	十月度運営会議	5 水		5 土		5 月	十二月第1例会（総務）	5 水		5 日		5 日		5 水		5 金		5 月		5 水	八月度運営会議	5 土		5 火		5 木		5 日		5 火	
6 火		6 木	全国大会（広島）	6 日		6 火		6 木	一月度運営会議	6 月	三月度運営会議	6 月	四月度運営会議	6 木		6 土		6 火		6 木		6 日		6 水		6 金	十一月度運営会議	6 月	JCI世界会議（オランダ）	6 水	
7 水		7 金		7 月	十二月度運営会議	7 水		7 土		7 火		7 火		7 金		7 日		7 水		7 金		7 月	九月度運営会議	7 木		7 土		7 火		7 木	
8 木		8 土		8 火		8 木		8 日		8 水		8 水		8 土		8 月	六月度運営会議	8 木	ASPAC(ﾓﾝｺﾞﾙ)	8 土		8 火		8 金	50周年特別会議	8 日		8 水		8 金	第2回新運営会議（仮）（2018年度）
9 金		9 日		9 水		9 金		9 月		9 木		9 木		9 日		9 火		9 金		9 日		9 水		9 土		9 月		9 木		9 土	
10 土		10 月		10 木		10 土		10 火	会員会議所会議（川越）	10 金	50周年特別会議	10 金	50周年特別会議	10 月		10 水		10 土		10 月		10 木		10 日		10 火		10 金		10 日	
11 日		11 火		11 金	第1回新理事会	11 日		11 水		11 土		11 土		11 火		11 木		11 日		11 火		11 金		11 月		11 水		11 土		11 月	
12 月		12 水		12 土	ありがとう関東地区	12 月		12 木		12 日		12 日		12 水		12 金		12 月	七月度理事会	12 水		12 土		12 火		12 木		12 日		12 火	
13 火		13 木	十一月度理事会	13 日		13 火		13 金	一月度理事会	13 月		13 月		13 木		13 土		13 火		13 木		13 日		13 水		13 金	50周年特別会議	13 月	十二月度理事会	13 水	
14 水		14 金		14 月		14 水	第2回新理事会	14 土		14 火		14 火		14 金	五月度理事会	14 日		14 水		14 金	八月度理事会	14 月	50周年特別会議	14 木		14 土		14 火		14 木	
15 木	十月度理事会	15 土		15 火	十二月度理事会	15 木		15 日		15 水	合同所信伝達式	15 水		15 土		15 月	50周年特別会議	15 木		15 土		15 火		15 金	十月度理事会	15 日		15 水		15 金	
16 金		16 日		16 水		16 金		16 月		16 木		16 木		16 日		16 火		16 金	50周年特別会議	16 日		16 水		16 土		16 月		16 木		16 土	十二月第2例会（拡大）
17 土		17 月		17 木		17 土	十二月第2例会（拡大）	17 火		17 金	三月度理事会	17 金	四月度理事会	17 月		17 水		17 土		17 月		17 木		17 日		17 火		17 金	第1回新運営会議（仮）（2018年度）	17 日	
18 日		18 火		18 金		18 日		18 水	二月度運営会議	18 土		18 土		18 火		18 木		18 日		18 火		18 金	九月度理事会	18 月		18 水		18 土		18 月	
19 月	九月度例会（総務）	19 水		19 土		19 月		19 木	京都会議（京都）	19 日		19 日		19 水		19 金	六月度理事会	19 月		19 水		19 土		19 火		19 木		19 日		19 火	
20 火		20 木		20 日		20 火		20 金		20 月		20 月		20 木		20 土		20 火		20 木		20 日		20 水		20 金	十一月度理事会	20 月	50周年特別会議	20 水	
21 水		21 金		21 月		21 水		21 土		21 火		21 火		21 金	50周年特別会議	21 日		21 水		21 金	50周年特別会議	21 月		21 木		21 土		21 火		21 木	
22 木		22 土		22 火	十一月度例会（地域）	22 木		22 日		22 水		22 水		22 土		22 月		22 木		22 土	サマーコンファレンス	22 火		22 金	九月度例会（総務）	22 日		22 水		22 金	第2回新理事会（仮）（2018年度）
23 金	会員会議所会議	23 日		23 水		23 金		23 月		23 木		23 木		23 日		23 火		23 金	六月度例会（選管）	23 日		23 水		23 土		23 月		23 木		23 土	
24 土		24 月	十月度例会（青少年）	24 木		24 土		24 火		24 金		24 金	三月度例会（地域）	24 月		24 水		24 土		24 月		24 木		24 日		24 火		24 金	第1回新理事会（仮）（2018年度）	24 日	
25 日		25 火	第2回理事長予定者会議	25 金		25 日		25 水		25 土	二月度例会（拡大）	25 土		25 火		25 木		25 日		25 火		25 金		25 月	会員会議所会議（B）	25 水		25 土	会員会議所会議（未）	25 月	
26 月		26 水		26 土	さよならブロック（鴻巣北本） 第3回理事長予定者会議	26 月		26 木		26 日		26 日		26 水		26 金	五月度例会（研修）	26 月	会員会議所会議（G）	26 水		26 土	八月度例会（青少年）	26 火		26 木		26 日		26 火	
27 火		27 木		27 日		27 火		27 金	二月度理事会	27 月	会員会議所会議（川口）	27 月	会員会議所会議（行田）	27 木		27 土		27 火		27 木		27 日		27 水		27 金	十月度例会（研修）	27 月	十一月度例会（青・地）	27 水	
28 水		28 金		28 月		28 水		28 土		28 火		28 火		28 金	会員会議所会議（入間）	28 日		28 水		28 金	会員会議所会議（東入間）	28 月		28 木	全国大会（埼玉）	28 土		28 火		28 木	
29 木		29 土	会員会議所会議	29 火		29 木		29 日				29 水		29 土	四月度例会(仮)（青少年）	29 月	会員会議所会議（B）	29 木		29 土		29 火		29 金		29 日		29 水		29 金	
30 金	第1回理事長予定者会議	30 日	JCI世界会議（ｶﾅﾀﾞｹﾍﾞｯｸ）	30 水		30 金		30 月	一月度例会（総務）			30 木		30 日		30 火		30 金		30 日		30 水		30 土		30 月	会員会議所会議（G）	30 木		30 土	
		31 月				31 土		31 火				31 金				31 水				31 月		31 木				31 火				31 日	